

科目名	現代政治学特講	担当者	アオキ 青木 カズヨシ 一能	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>今日の世界は経済面で市場主義化、政治面で民主化という動きを軸に展開している。なかでも市場競争の激化のなかで格差が国内外において深刻化し、「機会の平等」を謳うリベラル・デモクラシーの果たすべき役割が問われ始めている。欧米では「民主主義の民主化」という課題が叫ばれて久しいが、経済の自由と政治の平等という価値概念を如何に調和させ、政策決定への合意を図りうるか喫緊の課題である。</p> <p>そこで本特講では、従前の民主主義論を意味的に理解するだけでなく、今日のグローバリゼーションと呼ばれる時代状況のなかで民主主義を改めて捉えなおし、今日のややもすれば混乱に陥る可能性の高い世界でそれが果たす役割、そして新たな世界秩序の構想と連動した民主主義を再考することを目的とする。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. まずは民主主義とはなにか、といった基本的な内容の把握をすることに始まり、国家の枠組みを弛緩（あるいは変質）させているグローバリゼーションの潮流においてデモクラシーの果たす役割を考察する。 2. 一方、今日のグローバリゼーションと呼ばれる状況を正確に把握し、そこで生まれるであろう世界の秩序、さらにはその秩序のなかで適的な民主主義の意味内容を認識する。 		
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. まず教材の読解を十分にし、同時に関連する分野の基本図書などを読破して自らの知識・理解を重層的に豊かにすることが望まれる。 2. その段階で、レポートを書く以前の準備として教員との意見交換を活発に行い、逐次、指導、アドバイスを受けて欲しい。 3. それらを総合して最終的なレポートのまとめに入ることを望む。ただし、その場合、教材の意味把握や要約のみに終わることなく、自らの見解を反映した内容にすることが重要と考えている。 		
スケジュール	<p>前・後期ともに最終提出期限の少なくとも1ヶ月前に草稿レポートを送付することが望まれるが、上記のように、その前段として教材の把握、理解、疑問などに関してメールなどで教員とのコミュニケーションを図ることが求められる。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	教材内容を十分に理解し、かつ自らの意見を反映させた形の内容にしているかを基準とする。
	平常評価	30%	意見交換などのプロセスを含めて、その取り組み姿勢などを平常評価として勘案する。
履修者への要望	<p>上記にも触れたように、教材の意味内容の把握だけに終わることなく、それを前提として自らの意見を反映できる、あるいは本特講を通じて、今日の政治状況に関心を持ち、その改善、改革に対して所見を持ちうるような努力を図ること。</p> <p>グローバリゼーションは主に経済面からのアプローチに重点が置かれがちだが、まさにそこで生ずる様々な問題や障害の克服は「政治」の調整能力や主導力に依るところが大きい点を十分に認識して取り組んで欲しい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名： デビッド・ヘルド（佐々木寛他訳） 教材名： 『デモクラシーと世界秩序 地球市民の政治学』（N T T 出版，2002 年） ISBN:978-4-75-714048-6 3,900 円+税</p> <p>「国家の揺らぎ」のなかでデモクラシーを新たな視点で捉え、国民から地球市民への概念の再構成を考察するものである。</p>
参考図書	<p>青木一能編『グローバリゼーションの危機管理論』（芦書房，2006 年） ISBN:978-4-75-561194-0 2,000 円+税 白鳥令・曾根泰教編『現代世界の民主主義理論』（新評論，1984 年） ISBN:978-4-79-485011-9 3,000 円+税 堀江湛・岡沢憲芙『現代政治学（第2版）』（法学書院，2002 年） ISBN:978-4-58-703252-4 3,200 円+税</p>
履修上のポイント	<p>グローバリゼーションの深化のなかで経済面での優劣が社会的歪みをもたらす危険性が高い。それを如何に調整し、社会的安寧をもたらすかは政治の大きな課題であるが、同時に政治そのものの質的变化（改善）が求められている。その点において教材に挙げた書は一つの重要なヒントを提示するものであり、著者のヘルドが言おうとすることは世界で大きな注目点になっている。それを踏まえて各章の理解を十分に行って欲しい。</p>
レポート課題 1	<p>教材はⅠからⅢ部構成になっており、課題 1 ではⅠ、Ⅱ部での言及について理解し、それらを総合してレポートにまとめて欲しい。</p> <p>留意点：まとめ方については、とくに重要と思われる章を取り上げるか、あるいは総合的に捉えるかは各自の判断に任せたい。</p>
レポート課題 2	<p>課題 2 では、教材Ⅰ、Ⅱ部のなかから課題 1 で取り上げなかった章を選択し、それを中心に自己の見解を交えてレポートをまとめて欲しい。</p> <p>留意点：これを補完するために、参考図書で挙げたもの、あるいはその他の資料などを十分に利用して欲しい。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名： デビッド・ヘルド（佐々木寛他訳） 教材名： 『デモクラシーと世界秩序 地球市民の政治学』（N T T 出版，2002 年） ISBN:978-4-75-714048-6 3,900 円+税</p> <p>「国家の揺らぎ」のなかでデモクラシーを新たな視点で捉え、国民から地球市民への概念の再構成を考察するものである。</p>
参考図書	<p>青木一能編『グローバリゼーションの危機管理論』（芦書房，2006 年） ISBN:978-4-75-561194-0 2,000 円+税 白鳥令・曾根泰教編『現代世界の民主主義理論』（新評論，1984 年） ISBN:978-4-79-485011-9 3,000 円+税 堀江湛・岡沢憲芙『現代政治学（第2版）』（法学書院，2002 年） ISBN:978-4-58-703252-4 3,200 円+税</p>
履修上のポイント	<p>グローバリゼーションの深化のなかで経済面での優劣が社会的歪みをもたらす危険性が高い。それを如何に調整し、社会的安寧をもたらすかは政治の大きな課題であるが、同時に政治そのものの質的变化（改善）が求められている。その点において教材に挙げた書は一つの重要なヒントを提示するものであり、著者のヘルドが言おうとすることは世界で大きな注目点になっている。それを踏まえて各章の理解を十分に行って欲しい。</p>
レポート課題 1	<p>課題 1 では、基本教材のⅢ部のなかから興味を持つ章（複数でも構わない）を選択して、そこでの言及内容と自己の見解を交えてレポートをまとめてほしい。</p> <p>留意点：できるだけ教材に即した文献をあたりながら課題をレポートしてほしい。</p>
レポート課題 2	<p>課題 2 では、教材のⅢ部を中心に課題 1 と同様なかたちでまとめて欲しい。</p> <p>留意点：これを補完するために、参考図書で挙げたもの、あるいはその他の資料などを十分に利用して欲しい。</p>